

に檢足され二十三に釋放さる

用東印刷労働組合中尾勝雄時計工組合本澤兼治は二十五日午後一時工場訪問工場側の言を御向も確り退出二十六日更ら本澤外三名は工場側と合意前同と同様要求を提出したる以前同様の場側の回答通りにして解雇者の復職を迫るたも拒絶され本日更ら合意見ることにして退場となり

二十三日更ら代表者は解雇者の復職二方を極力工場主に交渉したるも工場主は頑として復職せざ二十七日解雇者として交渉せしめられたる用谷亀之助は代表として職工の代表として交渉のたより清君等をして四地業せしむるに及びたるも此二十七日より就業せられしと奨励せらる

レ解雇問題は四地業と切り離し故に解雇者多量の要求も爲すことに決し二十八日午後八時半四地業集團の解散を行はる二十九日午七時職工五ヶ所大分外七十二名新卒僱傭者四名無事就業あり  
一ノ解雇者代表 村井加織の兩名は解雇者多量六ヶ月を要求し工場は一ヶ月を支給す可く交渉中二十日夜午前一時に至りシカ皆互譲二ヶ月分の解雇者多量を支給することにして同満解雇せり

（厚田）十月中旬の次貸金早償値下目下の日給最高四十四十ギ最賃一月七十ギ請員最高七円八十二ギ最賃三月四十ギの問題より紛議